



イマジン  
ロータリー

国際ロータリー第2530地区

クラブ創立記念日：1970年4月5日

# 郡山東ロータリークラブ会報



2022-2023年間テーマ ロータリー活動で変化を受け入れる

会長：過足と茂 幹事：嶋原和義 公共イメージ・IT委員長：後藤吉宏

例会日／毎週火曜日  
例会場／郡山ビューホテル  
TEL024-924-1111

事務局／〒963-8844 郡山市字賀庄15-1 新沢ビル302 TEL024-973-7813 FAX024-973-7814 Email:kerc@cyber.ocn.ne.jp https://koriyama-east-rc.org/

## 第23回例会 (通算 2467回)

2023年5月9日(火)  
開会点鐘 国歌 奉仕の理想 四つのテスト

### 会長あいさつ

#### 野菜の花言葉

皆さん、野菜の花はあまり見たことがないと思いますが、野菜の花にも花言葉があります。

アスパラガスは「何も変わらない」「私が勝つ」、青々と繁るため、何も変わらない。成長と共に葉に棘を持つため「私が勝つ」ということ。カボチャは「広い、大きい」、ハロウインのカボチャが大きいことから来ていると思います。キャベツは「利益」、葉が何重にも巻いて丸くなります。それが利益を重ねるイメージになったそうです。ジャガイモは「恩恵」「慈愛」「慈悲」「情け深い」、ジャガイモは1年に3回くらい収穫ができ、ヨーロッパの食糧難を幾度となく救ってきました。なぜこんな話かという、漫画でレタスに花が咲くことを知ったからです。レタスの花言葉は「裏切り」です。

### 新会員紹介・入会式

#### 遠藤幸夫会員 遠藤事務所合同会社 代表社員



根本朝秋さんのご紹介で入会することとなりました。仕事は虎丸町で一人でやっておりますので、皆様のお役に立てるかどうかが、よろしくお願ひ致します。

#### 紹介者：根本朝秋さん

以前から入会をお願いしておりましたが、コロナ禍などもあり、今になりました。忙しい方ですが、よろしくお願ひ致します。

### 幹事報告

#### 嶋原和義 幹事

- 5月のロータリーレート 1ドル=136円
- ロータリー財団寄付・米山寄付募金ご協力のお願ひ
- 中央分区分サポート事業：郡山交響楽団第4回公演のご案内  
7月8日(土)15:00開演・けんしん郡山文化センター・中ホール  
チケット購入・プログラム広告協賛のご報告。  
チケットは会員一人2枚まで申込順で提供致します。

### 5月の誕生日

過足と茂さん(5.4)、牧野哲也さん(5.10)、伊藤高之さん(5.22)、宗像紘太郎さん(5.25)

### ニコニコBOX

過足と茂 嶋原和義 葛西秀匡 中村秀勝 加藤昌幸 佐藤雄三 橋詰勝雄  
小川則雄 根本一男 根本朝秋 吉田純男 川村雄一郎 上田 眞 伊藤清正  
齋藤孝子 三瓶洋一 伊藤高之

### 財団BOX

中村秀勝 橋詰勝雄 小川則雄 根本一男 小池正幸 根本朝秋 吉田純男  
上田 眞 伊藤清正 (敬称略)

### 米山記念奨学会

根本一男 小池正幸 上田 眞 伊藤清正

出席報告 会員数30名 出席21名 欠席9名 出席率70%

●他クラブ出席 郡山北RC(4/17)・・・川村雄一郎 郡山西RC・郡山西北RC(4/19)・・・加藤昌幸

### 第10回役員理事会 令和5年5月9日(火)

- 【審議事項】 ●2022-23年度 5月・6月プログラム ●2022-23年度決算「会計監査人」継続審議事項 ●中央分区分郡山交響楽団サポートプロジェクト ●「郡山まちなか子ども夢駅伝競争大会」広告協賛 ●入会・退会届
- 【報告事項】 ●2022-23年度組織変更 ●郡山交響楽団サポートプロジェクト
- その他 地区研修・協議会登録報告(5月13日)、地区報告案内、6月予定・中央分区分他予定

### ゲスト卓話「Z世代活躍係」

#### 郡山市役所政策開発部政策開発課Z世代活躍係長 岩浪正人様

Z世代とは、写真家ロバート・キャパが、戦後の世界が大きく変わる時代に生まれた世代を未知の世代(ジェネレーションX)として写真を撮ったのがきっかけで、1965～1980年くらいの世代です。次のY世代(1980～1995年)は、高校生くらいでインターネット、ガラケーが普及、多様性に富んでいるとされています。ゆとり世代(1987～2004年)は、ゆとり教育、週休2日制、教育内容を30%カットして自主的に学ぶよう育てられた世代です。しかし社会ではバブル崩壊で就職氷河期です。



そしてZ世代(1995～2010年)、最初に持ったのがスマホ、感覚が違います。携帯は電話ではなく、調べたりコミュニケーションを取るため、学校ではSDGs教育を受け、環境問題への意識が高いです。Z世代は今後、社会やビジネスに大きな影響を与えることが予想されます。Z世代の人口割合は19%。日本は少子高齢化ですが、世界では3人に一人がZ世代です。今のうちにZ世代を理解し、街づくりを一緒にやりましょうという流れです。

Z世代はデジタルネイティブです。なぜデジタル化が必要なのか、人手不足です。医療、介護だけでなく、働く人が取り合いになります。人でなくていい所はデジタル化ということです。

Z世代係は、Z世代の感覚をまちづくりに反映、活躍してもらおうということで設立されました。新しい事業を立ち上げたり、事業を見直したり。しかし経験はありません。それを誰が補うか、Z世代活躍係がサポートします。Z世代だけに目を向けているわけではなく、皆さんのサポートがまちづくりに必要です。他世代との交流、人材の育成、Z世代がたくさん経験と人脈を使って活躍できるような町を将来的に作っていきたくと思っています。

私が担当している「チャレンジ新発想研究塾」は、こおりやま広域圏の自治体若手職員が対象で「政策形成能力の向上、人脈づくり」。若手職員の発想でまちづくりをする。街なかで課題を見つけ解決策を導き、予算、最終的に提案までいく。ワークショップ、現地視察。市役所や民間の業者の皆さんをお呼びして提案までしていただく。

「わかものボードレスプロジェクト」は、こおりやま広域圏の高校生が対象です。まちづくりへの参画機会を作り、それによって郷土愛を図っていかうということです。グループワークで問題について意見交換、また現地の人と意見交換、フィールドワークをして提案をしていきます。

これからどういった事業を立ち上げていくか、すでにお付き合いをしているRCさんの力を借りたりしたいと思います。まず出前講座に呼んでください。企業、団体、ご興味があればお声かけください。

塩田 義智

郡山市三穂田町川田字小樋41番地 TEL024-945-2015

第24回例会  
(通算 2468回)2023年5月16日(火)  
開会点鐘 それでこそロータリー 四つのテスト

## ごあいさつ

## 次年度に向けて

急遽、会長代理です。先日は地区研修・協議会への参加、お疲れ様でした。1ヶ月先ですが、会長の大役を仰せつかりました。この一年、ロータリーについて勉強しながらスムーズなクラブ運営に努力したいと決意しています。

第2030地区 右近八郎がバナーエレクトは、地区のスローガンを「ロータリーの誇りを楽しもう!」と提言しています。その趣旨を尊重し、楽しい例会づくりからスタートし、会員相互の親睦を深める一年にしたいと思います。

## 幹事報告 嶋原和義幹事

## ●ロータリー財団、米山寄付、特別寄付

本日終了、5月中旬に送金。

## ●5月の役員理事会議事録のご案内

## ●委員会活動報告提出のお願い

## ●「スポGOMI in 郡山」のご案内

6月17日(土)受付9:30・開会10:00 郡山駅西口駅前広場  
主催/KFB福島放送 協力/国際ロータリー第2530地区

会員卓話会員「RYLA研修会報告」  
後藤吉宏公共イメージ・IT委員長

## 第41回RYLA研修会

2023年4月8日(土)・9日(日)

会場:母畑温泉八幡屋

研修会は、RYLAへの思い入れが強い佐藤がバナーのあいさつから始まりました。

## ●講演「福島で生きる 福島での12年間の活動 廃炉と復興への思い」

講師:経済産業省資源エネルギー庁

廃炉・汚染水・処理水対策官 木野 正登様

木野さんは、震災直後から福島に入り廃炉と復興、今は処理水の対応をされています。今回の講演では、主にALPS処理水の風評払拭のために、ロータリアンの皆様にご協力をいただきたいということでした。

現在第一原発には、133万トンの処理水があり、一日130トン増えているということでした。

処理水についてはまだまだ誤解があり、科学的に安全だということに理解が進んでいない。海洋放出に向けて、風評払拭には、ロータリアン始め、福島県民の皆様のご協力が欠かせないとおっしゃいました。

トリチウムを含んだALPS処理水は、WHOの基準に比べても低いこと、トリチウムは体内へ蓄積されないで体への影響が少ない、心配はないというお話でした。

処理水のトリチウムの量は海外の原発に比べても非常に少なく、海洋放出にあたっては、近県を含めて徹底したモニタリングをし、結果を公表するということでした。

## ●ワークショップ「アンガーマネジメント」～怒りの対処術～

講師:(株)岡田プランニング 代表取締役 岡田友子さん

怒る必要のあることは上手に怒り、怒る必要がないことは怒らないようになることがアンガーマネジメントの基本、決して怒らないということではないということでした。

怒りの正体は「……」はこうあるべきという自分の価値観に照

## 川村雄一郎会長エレクト



らし合わせて、そぐわない時に、辛かったり悲しかったり悔やんだり、不安が湧き上がって怒りとして発火するということでした。

コントロールは、怒ったと思ったら6秒間我慢する。今自分がどんな心理状態なのかを含めた思考のコントロール、そして自分の行動をどうコントロールするか(分かれ道)ということでした。6秒間我慢すると冷静になってきて、自分の心を見ることができるようになることができる。客観的に見るができるようになれば、後で後悔するようなことはないということです。

ワークショップでは、隣の人と、自分が怒ったことをその場で再現させました。自分の感情をどうコントロールするか、質疑もあり、非常におもしろかったです。

## ●講話「海外視察雑感～百聞は一見に如かず」

講師:田代行孝税理士事務所 税理士 田代行孝さん

田代さんは税理士として、世界各国へ研修、数多くの海外視察を体験したそうです。

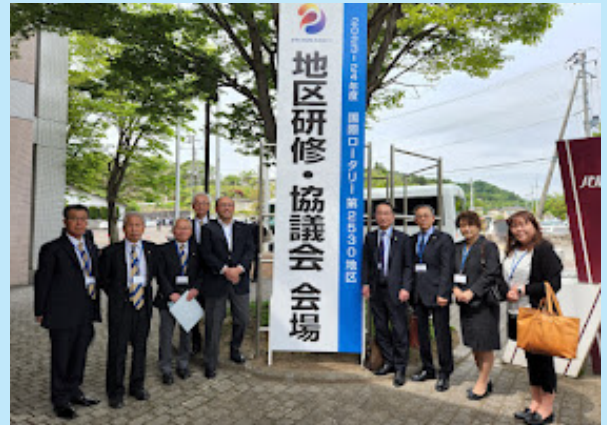
飛行機やホテルの各国の常識の違い、現地との交流での価値観の違い、さまざまなエピソードをお話しされました。海外へは行ってみたいとわからない、日本を外から見るのが大事だと言います。

視察は漫然と聞くのではなく、人の話を聞いて自分が主張することが大切と話されました。視察したその夜にレポートをまとめるそうです。

グループディスカッションでは、コロナ後のこと、ロシアのウクライナ侵攻、物価高など、社会的問題の中に自分の会社があって、リーダーとしてどのような経営をするか、それぞれテーマが与えられ、討議し発表しました。

20～30代の参加者は、国内外情勢を自分の問題に引き寄せ、経営者の視点で討議を重ねていました。これをきっかけに、新しいビジネスチャンスが生まれるといいと思いました。

研修会では、若い方達の可能性を感じることができました。



地区研修・協議会 5月13日(土)・パルセいいざか

●他クラブ出席 地区研修・協議会(5/13)…小池正幸 川村雄一郎 上田 眞 塩田義智 柳田佳子 佐藤雄三 中村秀勝 齋藤孝子 相山 進 橋詰勝雄

## ニコニコBOX

嶋原和義 高田藤太郎 加藤昌幸 橋詰勝雄 根本朝秋 川村雄一郎 伊藤清正 齋藤孝子 後藤吉宏

## 財団BOX

小池正幸 川村雄一郎 伊藤清正

## 米山記念奨学会

橋詰勝雄 小池正幸 根本朝秋

出席報告 会員数31名 出席17名 欠席14名 出席率45.16%

(敬称略)

(株)大関

代表取締役 嶋原和義

郡山市開成五丁目6-12 TEL024-921-5512